

6・7 日比谷公会堂を満杯に

沖縄闘争爆発と橋下打倒を国鉄決戦 勝利＝ゼネストへ

オスプレイ撤去・新基地阻止を

6・7 国鉄闘争全国集会まで2週間となった。韓国・民主労総の4・24ゼネストに続き、5・17 沖縄で3万5千人の空前の怒りが爆発した。同日、ハワイでオスプレイMV 22 が墜落事故で大破し、大阪では橋下の大阪都構想が大破綻した。今や基地・戦争・改憲をめぐる攻防と労働者の生きる権利をめぐる闘いが一つになり、労働組合とゼネストの復権が時代を動かす鍵を握っている。あらゆる怒りを6・7日比谷公会堂へ総結集し、安倍打倒へ突き進もう。

「戦争反対・安倍打倒」の力を総結集させよう

6・7 国鉄全国集会は第一に、民営化・外注化・非正規職化一労組根絶攻撃をぶち破る闘う労働組合の荒々しい登場のもとに、労働者階級人民の戦争絶対反対・安倍打倒の怒りを根こそぎ総結集させる場だ。

安倍は本気で戦争をやろうとしている。昨年7月 集団的自衛権行使を閣議決定した安倍政権は、4月27日に日米ガイドラインを改定し、5月15日には安保関連法案を「平和法」の名で国会に提出した。今や安倍政権は完全に全労働者階級の怒りの標的である。

これに対して直ちに5月17日、灼熱（しゃくねつ）の沖縄・那覇セルラースタジアムに結集した3万5千人が怒りをたたきつけた。国鉄闘争と解雇撤回・基地撤去、沖縄全島ゼネストを訴える5万数千枚のビラが配布され、沖縄の怒

り^{かんぜん}と完全^{いったい}に一体化^かした。『前進』が飛^{ぜんしん}ぶよう^とに売^うれ、「ゼネストをやろう」が闘^{たたか}う全^{ぜん}沖^{おきな}縄^{なわ}県^{けん}民^{みん}の合^{あい}言葉^{ことば}となった。

安^あ倍^べも官^{かん}房^{ぼう}長^{ちやう}官^{かん}・菅^{すが}も防^{ぼう}衛^{えい}相^{しやう}・中^{なか}谷^{たに}も、「辺^へ野^の古^こが唯^{ゆい}一^{いつ}の解^{かい}決^{けつ}策^{さく}」「工^{こう}事^じを
 肅^{しゆく}々^{しゆく}と進^{すす}める」と言^いい放^{はな}ち、オスプレイがハワイで訓^{くん}練^{れん}中^{ちゆう}に墜^{つい}落^{らく}しても「配^{はい}
 備^び方^{ほう}針^{しん}は変^かえな^い」として^いる。戦^{せん}争^{そう}だか^ら人^{にん}が死^しぬ^のは当^あたり前^{まえ}と言^いわんばか
 りだ。その根^{こん}底^{てい}には、沖^{おきな}縄^{なわ}と全^{ぜん}国^{こく}の怒^{いか}りの爆^{ばく}発^{はつ}への恐^{きやう}怖^ふと安^あ倍^べ政^{せい}権^{けん}のグ^ぐラ^らグ^ぐ
 の危^き機^きがある。アベノミクスはすでに破^は産^{さん}し、官^{かん}製^{せい}相^{そう}場^ばの株^{かぶ}価^かと国^{こく}債^{さい}の大^{だい}暴^{ぼう}落^{らく}も
 必^{ひつ}至^しという、日^に本^{ほん}経^{けい}済^{ざい}の破^は滅^{めつ}が切^{せつ}迫^{ぱく}して^いる。この中^{なか}で青^{せい}年^{ねん}労^{ろう}働^{どう}者^{しや}と学^{がく}生^{せい}を先^{せん}頭^{とう}
 にした^{らう}労^{ろう}働^{どう}者^{しや}階^{かい}級^{きゆう}のゼ^けネ^きスト決^{じゆう}起^{せい}への情^{きゆう}勢^{そく}が急^{せい}速^{じゆく}に成^は熟^{じゆく}し始^はめて^いる。安^あ倍^べ
 と日^に帝^{てい}支^し配^{はい}階^{かい}級^{きゆう}は焦^{あせ}りに焦^{あせ}って^いるのだ。

沖^{おきな}縄^{なわ}闘^{とう}争^{そう}が爆^{ばく}発^{はつ}した5月17日、大^お阪^{さか}では橋^{はし}下^{もと}が打^だ倒^{たう}された。橋^{はし}下^{もと}が画^{かく}策^{さく}した
 「大^お阪^{さか}都^と構^{こう}想^{そう}」をめぐ^る住^{じゆう}民^{みん}投^{とう}票^{ひやう}の結^{けつ}果^かは、自^じ治^ち体^{たい}労^{ろう}働^{どう}者^{しや}の全^{ぜん}員^{いん}解^{かい}雇^こ・選^{せん}別^{べつ}再^{さい}
 雇^こ用^{よう}による^{らう}労^{ろう}働^{どう}組^{くみ}合^{あい}の解^{かい}体^{たい}を狙^{ねら}った攻^{こう}撃^{げき}を打^うち砕^{くだ}いた。橋^{はし}下^{もと}を打^だ倒^{たう}したものは、
 大^お阪^{さか}市^し職^{しやく}本^{ほん}部^ぶの闘^{とう}争^{そう}放^{ほう}棄^きと「住^{じゆう}民^{みん}投^{とう}票^{ひやう}」という形^{けい}式^{しき}をものりこえて進^{すす}んだ、
 現^{げん}場^{ばう}労^{らう}働^{どう}者^{しや}の絶^{ぜつ}対^{たい}反^{はん}対^{たい}の怒^{いか}りと団^{だん}結^{けつ}である。そしてその先^{せん}頭^{とう}で橋^{はし}下^{もと}打^だ倒^{たう}の闘^{たたか}い
 を職^{しやく}場^ばで実^{じつ}際^{さい}に貫^{つらぬ}いてきた国^{こく}鉄^{てつ}闘^{とう}争^{そう}と階^{かい}級^{きゆう}的^{てき}労^{らう}働^{どう}運^{うん}動^{どう}だ。

東^{とう}京^{きやう}・杉^{すぎ}並^{なみ}では4月区議選の地^ち平^{へい}を引^ひき継^つぎ、児^じ童^{どう}館^{かん}廃^{はい}止^しとの闘^{たたか}いが自^じ治^ち体^{たい}
 丸^{まる}ごと民^{みん}営^{えい}化^か攻^{こう}撃^{げき}との全^{ぜん}面^{めん}対^{たい}決^{けつ}としてさら^はに発^は展^{てん}して^いる。

起^おきて^いるこ^の核^{かく}心^{しん}は、資^し本^{ほん}家^か階^{かい}級^{きゆう}と労^{らう}働^{どう}者^{しや}階^{かい}級^{きゆう}との対^{たい}立^{りつ}の激^{げき}化^か・非^ひ和^わ解^{かい}
 化^かだ。安^あ倍^べ政^{せい}権^{けん}と資^し本^{ほん}、マ^{たい}ス^{せい}コ^{ない}ミ、体^{てい}制^{せい}内^{ない}の全^{ぜん}党^{とう}派^はがこ^れを推^おし隠^{かく}すの^に必^{ひつ}死^しに
 な^って^いる。このこ^の事^は、労^{らう}働^{どう}者^{しや}階^{かい}級^{きゆう}が「オ^おール^{きゆう}沖^{おきな}縄^{なわ}」な^どのス^ろーガ^ん（そ
 の本^{ほん}質^{しつ}はオ^おール^に日^{ほん}＝国^{こく}家^か主^{しゆ}義^ぎに^いき着^つく）の^{いん}チ^きキをぶち破^{やぶ}って、階^{かい}級^{きゆう}と
 して団^{だん}結^{けつ}して闘^{たたか}う中^{なか}に、安^あ倍^べを倒^{たお}す力^{ちから}があるこ^の事^を示^{しめ}して^いる。

どうろうそうれんごうけんせつ すす ぜんさんべつ そりょくけつき
動労総連合建設を進め全産別での総力決起へ

しゅうかい だいに どうろうそうれんごう ぜんこく だい ぶんかつ みんえい か こうげき
6・7 集会は第二に、動労総連合を全国でつくり、第 2 の分割・民営化攻撃
と徹底的に闘って、全労働者階級の生きる展望を職場から切り開く闘いだ。

かんこく おきなわ お じょうせい に ほんぜんこく ぜん せ かい う
韓国や沖縄で起きているゼネスト情勢は、日本全国と全世界に生まれている。

ちゅうしん こくてつとうそう
その中心に国鉄闘争がある。

みんえい か ねん どうろう ち ば ぜんめんがいちゅう か ふ こ につい きじくしほん は
民営化から 30 年、動労千葉は全面外注化に踏み込む日帝の基軸資本 J R の破
たん つ だ さくねんらい がいちゅうさき けた ひ せい きろうどうしゃ くみあい かくとく
綻を突き出す昨年来のストライキで、外注先の 2 桁の非正規労働者を組合に獲得
した。また福島圧殺の被曝強制に対し動労水戸は、被曝労働拒否のストで原発
ろうどうしゃ ほこ だんけつ だ いか たたか とうほく ふくしま そしき
労働者の誇りと団結をもつくり出し、「怒り闘う東北・福島」を組織している。

どうろう ち ば どうろう み と どうろうそうれんごう せんとう こくてつとうそう しほん お
動労千葉・動労水戸—動労総連合を先頭とする国鉄闘争は、J R 資本を追いつめ
るとともに、1047 名解雇撤回闘争で国家的不当労働行為の共犯である最高裁
をいまだ判決が出せないところに追い込んでいます。

しほん きき ふか せいかん かさいじこ
J R 資本の危機もますます深まっている。4・3 青函トンネル火災事故、4・12
やまの て せんでん か ちゅうとうかい じ こ どうほくしんかんせん か せん じ こ ぞくはつ じゅうだい じ こ
山手線電化柱倒壊事故、4・29 東北新幹線架線事故など続発する重大事故は、
みんえい か がいちゅう か ぜんめんてきはさん ほうかい あば だ やまの て せん じ こ こくどうつう
民営化・外注化の全面的破産と崩壊を暴き出した。山手線事故では、国土交通
しょう うん ゆ あんぜん いんかい ふつか ご じ こ げんば けんしょう い はしら てつきよ
省の運輸安全委員会が 2 日後に事故現場に検証に行くとともに柱は撤去され
ていた。とてつもない無責任体制と事故放置・安全崩壊の実態が示された。

どうろうそうれんごう ぜんこくてきけんせつ ねんまえ せいじ わかい だいほんどう と だい
動労総連合の全国的建設は、5 年前の 4・9 政治和解の大反動をぶっ飛ばし、第
ぶんかつ みんえい か こうげき き さ じょうせい じっさい みちび たたか
2 の分割・民営化攻撃を切り裂いて、ゼネスト情勢を実際のゼネストに導く闘
いである。全産別の正規・非正規の労働者が団結して闘う希望そのものだ。動
ろうそうれんごうけんせつ しゅとけん はじ ぜんこく お すす ごうどう いっぱんろう そ ぜん
動労総連合建設を首都圏を始め全国でグイグイと押し進めよう。合同・一般労組全

こくきょう いったい けんせつ おおさか はしもと だとう つづ にっきょう そ じ ちろう せんとう
 国協をこれと一体で建設し、大阪での橋下打倒に続いて、日教組・自治労を先頭
 こう む いんけっせん ぜんこく つらぬ れんごう ぶんれつ かいけん すす ろう そ
 に公務員決戦を全国で貫こう。「連合を分裂させよ、改憲を進める労組になれ」
 ぜっきょう さくらい あべ だとう ほんりゅう けっき だ
 と絶叫する桜井よしこ＝安倍を打倒する、奔流のような決起をつくり出そう。
 かんこくみんしゅろうそう だい じ しょうり ひ つ だい じ
 韓国民主労総は、4・24 第1次ゼネストの勝利を引き継ぎ、第2次ゼネスト
 き ほんけいかく はつびょう ろうどう し じょう こうぞうかいあく そ し こう む いんねんきんかいあく そ し
 への基本計画を発表した。①労働市場の構造改悪阻止②公務員年金改悪阻止・
 こうてきねんきんきょう か さいていちんぎん まん かくとく ぜんろうどうしゃ ろうどう き ほんけんせんしゅ だいう
 公的年金強化③最低賃金1万円獲得④全労働者の労働基本権戦取という4大要
 きゅう かか さいだい やまば がつまつ がつはじ せつてい みんしゅろうそう
 求を掲げ、最大の山場を6月末から7月初めに設定している。民主労総ゼネス
 こくさいれんたい はってん ひ び や こうかいどう そうけっしゅう
 トとの国際連帯の発展をかけて、6・7日比谷公会堂に総結集しよう。

だんあつ ぶんだん う くだ ろうどうくみあい とう けんせつ
 弾圧・分断を打ち砕き労働組合と党の建設を

しゅうかい だいさん あべ だとう つ すす ろうどうくみあい とう
 6・7 集会は第三に、安倍を打倒しゼネストへ突き進む労働組合と党をつく
 たたか
 る闘いだ。

に ほんけいざい いま びょう よ だんかい はい かぶか あ
 日本経済のメルトダウンは今や秒読み段階に入った。株値つり上げのために
 ゆうちょう かんぼ ねんきん き そねんきんぶぶん かぶしきうんよう しほんかせいふ あべ い つ
 郵貯や簡保、年金の基礎年金部分までを株式運用する資本家政府・安倍の行き着
 さき こっか はたん せんそう あんぼせんそうほうあん いったい ろうどうしゃ はけんほうかいあく ろうきほうかいあく
 く先は、国家破綻と戦争だ。安保戦争法案と一体の労働者派遣法改悪・労基法改悪
 じ かんろうどうせいきたい かくしん かくめい きょう ふ ほんかくめい ろう
 による8時間労働制解体の核心は、プロレタリア革命への恐怖と反革命だ。労
 どうしゃ いか おも し とき き
 働者の怒りを思い知らせる時が来ている。

しょくば せいさんてん だいがく さいしよ しょうすう ぜつたいはんたい は はた あ しゅん
 職場生産点や大学キャンパスに最初は少数でも絶対反対派が旗を揚げた瞬
 かん しんじゆうしゅぎ げんじつ つ だ きせい ぜんせいじとうは
 間、新自由主義の「すべてがウソ」の現実が突き出される。既成の全政治党派が
 みんえい か がいちゅうか くつぶく くさ りけん むら りごうしゅうさん
 民営化・外注化に屈服し、腐った利権に群がって離合集散してきたのだ。すべ
 かいきゅうてきろうどうくみあい かくめいとう きたい ろうどうしゃかいきゅう いか かくめい
 ては階級的労働組合と革命党を解体し、労働者階級の怒りをゼネストや革命と
 せつだん お かくきょうどう こくてつろうどうしゃ せんとう にほん
 切断して押しつぶすためだった。しかし革共同と国鉄労働者を先頭とする日本

ろうどうしゃかいきゅう う やぶ
労働者階級はこれを打ち破ってきた。

だから国家権力こっかけんりよくによる革命運動かくめいうんどうあつさつこうげき圧殺攻撃げれつはしよせん下劣で、スパイやデッチ
あげ弾圧だんあつ たよに頼るものでしかない。だが階級かいきゅうてき的だんけつな団結まえの前にはそんな弾圧だんあつや分断ぶんだん
は無むりよく力りよくであり、逆ぎやくに闘たたかいの糧かたとなる。重じゅうよう要ようなことは、時じだい代だいと歴れきし史しについていの生
きた認にんしき識しきと労働者ろうどうしゃへの絶ぜつ対たい的てき信しん頼らいを土台どだいにして、人にんげん的てききょうどうせい共こう同どう性せいの発露はつろとしてゼ
ネストと革命かくめいを引ひき寄よせる強つよい団結だんけつだ。そこみづかに自みらゆだの身しんを委よね、職しよく場ばでも組そ織しき
の中なかでも同おなじ言こと葉ばを語かたり、闘たたかうリそんざいーざいダいーいの存そんざい在ざいだ。

「戦後 70 年」とは戦後革命期せんご以来ねんの労働者階級せんごかくめいきの血いらいと汗ろうどうしゃかいきゅうの闘ちいの歴あせ史たたかであ
り、国鉄闘争こくてつとうそう 30 年ねんの中なかにその誇ほこりと蓄積ちくせきのすべひてが引つき継つがれている。ロシア
革命かくめいから 100 年ねん、資し本ほん家か階級かいきゅうは労働者階級ろうどうしゃかいきゅうを民みんぞく族ぞく・国こっきょう境きょうで分断ぶんだんし、新自由
主義しんじゆうによって労働者ろうどうしゃの団結だんけつを職しよく場ば末まつ端たんまで破は壊かいし解かい体たいするこえんめいと延命えんめいしてきた。
だが新自由主義しんじゆうしゅぎは自みづからはの破産はさんから、1929 年大恐ねんだいきょうこう慌こうを上うまわ回わる世界大恐せかいだいきょうこう慌こうと
三度目さんどめの世界戦争せかいせんそうの危き機き、すなわち世界革命せかいかくめいじょうせい情勢ひを引よき寄よせている。

国鉄闘争こくてつとうそう、階級かいきゅうてき的てき労働運動ろうどううんどうと固かたく歴れきし史しをとおきなわもさんりづかにほししてきた沖繩のとうそう、三里塚さんりづか、星野闘争ほしのとうそう
を今いまこおそおともはってんに大せいねんきく発展ろうどうしゃさせ、青がくせい年あら労働者たら、学れきし生きのき新ひらたな闘きいの歴き史ひらを切きり開ひら
こう。資し本ほんの支し配はいと正しょう面めんから闘たたかう労働組ろうどうくみあい合ろうどうしゃと労働者とうの党もとが求もとめられていもとる。

『前進』を職ぜんしん場しよく・学がくえん園えん・地ち域いきの隅すみ々ずみにもちこみ、6・7 日比谷公会堂ひびやこうかいどうを満杯まんばいに
する大結集だいけっしゅうをかちとり、5～8 月安倍打倒がつあべだとうの決戦けっせんに勝かちぬこう。